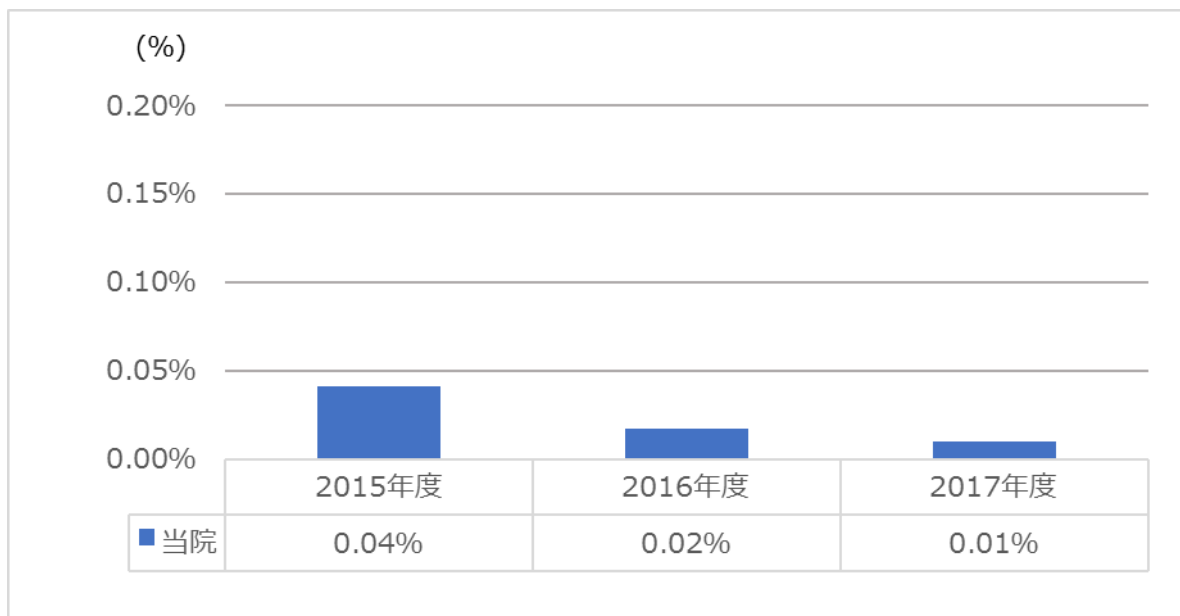


指標 39 褥瘡（じょくそう）発生率



<定義>

分子	:	d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数
分母	:	入院延患者数
期間	:	2015年度～2017年度（1年毎に集計）
対象	:	上記期間の入退院患者
値の解釈	:	低い方が望ましい

<解説>

褥瘡（床ずれ）とは、寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうことです。

当院では褥瘡の発生予防・早期発見・早期治療に努めており、重度の褥瘡発生率は低い値となっています。

※ 本データは当院で収集したデータを基に作成しています。